

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(八代郡)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	八代郡	氷川町(旧竜北町) 大野(北川・笹尾)	奴	とこせい	竜北町無形民俗文化財 昭和50年4月1日	10月13日		北川、笹尾地区に残されている奴の演技は、いつの時代からはじめられたかは不明であるが、古老の口伝によると、2年以上干ばつが続いた時の雨乞い行事としてはじめられたということである。過去において、2年以上続いた干ばつは天明4年から5年(今から200年前)にかけての他はないことから、その時分からはないかという説もある。宮原町・西福寺の過去帳によると北川はもと種山(現東陽村)手永に属し、明治26年町村制施行で吉本町と合併し、吉野村となった。明治6年の干ばつは、比類稀で種山の若宮神社に参籠、立願1週間に及んだが雨が降らず、郷社、三神宮に合併立願、更に文政の加藤神社をはじめ近郷一円に立願するとともに宮籠りをなすことになり、雨乞いをする事4回に及んだが、各町や村でドラや太鼓を打ち鳴らすだけでは神意に届かないということと、度々の立願疲れもあり協議の結果、各町村町村から競ってにわかを出すことになり大賑いを呈したということである。この時、三島流の奴を演じ喝采をはくしたのが北川地区であり、今日残されている奴である。三神宮(宮原町)の氏子である関係から、秋の大祭神幸に加わり今日に及んでいるものであり、「奴」の動作については、目的が雨を降らすという意味から「振り」いわゆる「振り」の動作が主体で雨を降り振り出し、各家々に幸福を振り込むという意味にも通ずる竜北町古来の郷土芸能である。《口説》「せい、トコセイ、トコセイ、マッカツシヨサ、ハリワセイ、イヤサトサ、ズイトコセイ。」これを2回くり返し、「シッシツ」という静止のことで取り交わしの姿勢をとり呼吸を合わせ一斉に取り交わす。「テウェーハルワセイ」から2回目目は始まる。《構成》1. 霧払い2人:紋服に小刀を差し、弓を持って前駆として道をあける。2. 挟み箱4人(内2人は替り役):昔はハビに兵児帯、六尺ふんどし、小刀を差す。(小刀には銘刀もあつたが戦時中供出されて木刀に変わる)3. 大傘2人(内1人は替り役)4. 振傘(鉾) 2人(内1人は替り役)【氷川町HP/2005】 以前は、北川と笹尾地区は一緒にに行っていたが現在は1年交代である。【2001】		氷川町生涯学習課 文化振興係 0965-52-5860 FAX0965-52-3939		
2	八代郡	氷川町(旧宮原町) 川上	川上の餅つき		宮原町無形民俗文化財 昭和44年3月13日	不定期		川上地区・天明五年(一七八六年)非常な干ばつ、飢渴のために雨乞いを数回行われ、雨が振り、その危機を逃れて、今まで伝承されている行事です。昔の服装はしゅうの皮のようなものをつけて跳んでいたとも、また、神の眷族のような衣装ともいわれていました。明治十年三月二十三日、西南戦争の時、村主の岡本家(現梅田利夫)にて煙が立ち、米を洗う農婦を上の上山より見た官軍が、賊をかくまっているものと怪しみ、火をつけたので、村中で1件を残し全戸焼失し、餅搗きの由来や衣装、祝詞など保存された記録も道具も焼失したそうです。今は古老の話や笛や太鼓、祝詞、臼、杵、手甲、脚絆、草鞋履き、鉢巻き、褌がけで搗き手四人粉取り一人など村の世話役や若者が総がかりで跳んでいます。【氷川町HP/2005】 雨乞いのためにおこなわれてきたものらしいが、他にも建築物の落成祝い、橋や道路【2001】				
3	八代郡	氷川町(旧宮原町) 早尾	早尾の棒術		宮原町無形民俗文化財 昭和44年3月13日	要請により開催		早尾地区に伝わる奇習。【氷川町HP/2005】 月2回程度の練習。中学生への伝承も努めている。【2001】				
4	八代郡	氷川町(旧宮原町) 下宮	三神宮子供神楽		宮原町無形民俗文化財 昭和44年3月13日	12月31日 ~1月		三神宮の祭礼、歳旦祭、夏越祭り、秋季大祭で奉納。近隣神社の要請でも行う。【2001】	【伝統芸能】 神楽			
5	八代郡	氷川町(旧宮原町) 立神	熊野座神社神楽		宮原町無形民俗文化財 昭和44年3月13日	10月7日~ 10月9日		立神地区にある熊野座神社の秋の例祭に奉納される神楽。【2001】	【伝統芸能】 神楽			
6	八代郡	坂本村田久多良木 字馬場	馬場地区棒踊り			不定	不定	《構成》《特色》【1991】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
7	八代郡	氷川町(旧宮原町)下宮	三神宮肥後神楽			1月1日 4月29日 7月29日 10月13日 11月25日	三神宮 三神宮 三神宮 三神宮 塩屋八幡宮(八代市)	八代市八幡町塩屋八幡宮例大祭に夜神楽奉納。【2006.11.25.熊日】 《演目》三座、頭なで、四方様、神、剣弓、二剣、宝剣、羽矢、四剣、国津、地鎮。《沿革》昭和7年、北岡神社(熊本市)から習ったという。平成元年からは、浦安の舞も行われている。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
8	八代郡	氷川町(旧宮原町)早尾	早尾のドラ打ち			10月13日	三神宮	《構成》《特色》【1991】				
9	八代郡	氷川町(旧宮野原町)下宮	三神宮例祭神幸行列			10月13日	三神宮	10月13日、五穀豊穣を感謝する秋季大祭があり、神幸行列が地域を練り歩いた。祭りは、同宮が創建された1161(応保元)年に始まったとされ、恒例の神幸行列は先頭を行く獅子や神馬、奴、亀蛇など、11月に八代市である八代妙見祭の影響が色濃く見られる。午前中の神事に続いて境内で獅子舞が奉納され、行列が発発。同宮一帯を練り歩いた後、約1キロ離れたお旅所の川原大神宮に向かった。地区の子どもみこしも加わった。今年は同宮創建850年を記念し、氷川中学生による飾り馬奉納や、もち投げもあった。【2011.10.15熊日】	祭礼 (神社行事)		五穀豊穣	
10	八代郡	氷川町(旧宮原町)下宮	三神宮の獅子舞			1月1日 10月13日	三神宮	10月13日、五穀豊穣を感謝する秋季大祭があり、神幸行列が地域を練り歩いた。祭りは、同宮が創建された1161(応保元)年に始まったとされ、恒例の神幸行列は先頭を行く獅子や神馬、奴、亀蛇など、11月に八代市である八代妙見祭の影響が色濃く見られる。午前中の神事に続いて境内で獅子舞が奉納され、行列が発発。同宮一帯を練り歩いた後、約1キロ離れたお旅所の川原大神宮に向かった。地区の子どもみこしも加わった。今年は同宮創建850年を記念し、氷川中学生による飾り馬奉納や、もち投げもあった。【2011.10.15熊日】				
11	八代郡	氷川町(旧宮原町)高塚地区	雨乞い太鼓	あまごいだいこ				11月13日、合併後の第1回火の君まつりで披露。【2005.11.15.熊日】				
12	八代郡	氷川町(旧竜北町)	ひのきみ太鼓					11月13日、合併後の第1回火の君まつりで披露。【2005.11.15.熊日】				